

令和8年度 杏林大学 保健学部 一般選抜（前期日程）

「国語」入学試験問題 出題意図

2月3日（火）、4日（水）、5日（木）の三日間に行われた入学試験は、それぞれ、現代文の長文読解2題、漢字・語彙など国語の常識 1題の、合計3題を出題した。現代文の長文は 1800～2800字で、論理的な文章（評論）と文学的な文章（小説・エッセイ）を組み合わせた。性格の異なる二種類の文章の読解を通して読解力や語彙力を軸に総合的な学力を問うものである。

Iの論理的な文章（評論）では、客観的に正しく読みとる力を問う。内容説明、空所補充、指示内容、語彙 接続詞などの問を組み合わせた。全体の構成、全体の論理の展開の読み取りを問うため、段落挿入個所を問う問題、また、全体の内容についての真偽を問う問題を最後においた。

IIの文学的な文章（小説・エッセイ）では、主観的な文章を適切に読みとる力を問う。Iと同じく、内容説明、空所補充、指示内容、語彙 接続詞を問う問題のほか、登場人物（または筆者）の心理、表現の特徴（レトリック）の適切な読みを問う問題がある。

IIIは、漢字と語彙、国語の常識を問うもので、はじめの 5 題は漢字についての出題である。問題にかかわる漢字の語はカタカナで示され、4つの選択肢でも同様にカタカナで示されている熟語の中で、問題文と同じ漢字が使われているものを選ぶように求めている。カタカナで書かれた部分の漢字を認識するのに必要な語彙力、漢字の知識が問われる。後半の 5 題は「国語の常識」として、1日目はことわざ、2日目は類義語、三日目は対義語について出題した。それぞれ語彙の知識、または漢字や文脈からの推察力を問うものである。

日程		種別	類別	内容	出典
2月3日	I	現代文	評論	44字×42行（1848字）	平野啓一郎『「カッコいい」とは何か』
	II	現代文	小説	44字×63行（2772字）	野々井透 「棕櫚を燃やす」
	III	国語常識		漢字と語彙、ことわざ完成	
2月4日	I	現代文	評論	44字×47行（2068字）	山田圭一『フェイクニュースを哲学する』
	II	現代文	随想	44字×42行（1848字）	伊集院静「忘れなくていい」
	III	国語常識		漢字と語彙、類義語	
2月5日	I	現代文	評論	44字×47行（2068字）	谷崎潤一郎「文章読本」
	II	現代文	随想	44字×46行（2024字）	小川洋子「赤ん坊の握りこぶし」
	III	国語常識		漢字と語彙、対義語	

令和 8 年度 杏林大学 保健学部 一般選抜（前期日程）

「数学」入学試験問題 出題意図

数学では、大問 1 の小問群、大問 2 の図形問題、大問 3 の場合の数と確率またはデータの分析から出題した。出題範囲は数学 I および数学 A で、基本的な数学的知識の正しい理解を測れるような問題を出題した。大問 1 では当該分野における計算能力を、大問 2 では平面または空間の図形から数学的論述能力を測ることを目的としている。大問 3 では、統計分析に必要な論証力を測るための問題を出題した。各試験日ごとの出題内容は以下の通りである。

2 月 3 日 実施分

1. 数と式、二次関数、集合と命題、場合の数と確率の各分野に関する計算問題。
2. 図形の性質として平面図形に関する問題
3. 場合の数と確率に関する問題

2 月 4 日 実施分

1. 数と式、二次関数、集合と命題、場合の数と確率の各分野に関する計算問題。
2. 図形の性質として平面図形に関する問題
3. 場合の数と確率に関する問題

2 月 5 日 実施分

1. 数と式、一次不等式、集合と命題、場合の数と確率の各分野に関する計算問題。
2. 図形の性質として空間図形に関する問題
3. データの分析に関する問題

令和 8 年度 杏林大学 保健学部 一般選抜（前期日程）

「物理」入学試験問題 出題意図

2 日目

I

力学からの出題で、摩擦のある床面で物体に力を加えたときの力のつり合いや物体の加速度などの理解を問う設問である。

II

電磁気学からの出題で、静電気、オームの法則、電気回路、ジュール熱、電力などの理解を問う設問である。

III

波動からの出題で、波の反射、気柱の固有振動、音のドップラー効果（ⅢA のみ）などの理解を問う設問である。

令和 8 年度 杏林大学 保健学部 一般選抜（前期日程）  
「化学」入学試験問題 出題意図

【一般型選抜】3日間とも同じ

高校化学の知識の理解度を問うのはもちろんのこと、出題されている数値を解釈し、それを用いて計算を行うことで解答を導き出す問題が配置されている。

➤ 問 1

高校『化学基礎』の基礎的な知識を問う問題です。

➤ 問 2

高校『化学基礎』の基礎的な知識とその応用力を問う問題です。

➤ 問 3A

高校『化学』の基礎的な知識とその応用力を理論化学・無機化学と有機化学に関する項目から問う問題です。

➤ 問 3B

問 2 と同様に高校『化学基礎』の基礎的な知識とその応用力を問う問題です。

問題	問	意図
I	問1	代謝における物質とエネルギーの変化について問う。
	問2	ATPの構造を問う。
	問3	異化の意味と例を問う。
	問4	ATPの構造とはたらきを問う。
	問5	触媒の性質について問う。
	問6	酵素の特徴について問う。
	問7	実験例を題材として、カタラーゼと酸化マンガン（IV）の働きについて問う。
	問8	実験例を題材として、カタラーゼと酸化マンガン（IV）の働きについて問う。
	問9	実験例を題材として、触媒の性質について問う。
II	問1	生態系の基本的な特徴について問う。
	問2	植生の相観による分類について問う。
	問3	一次遷移の特徴について問う。
	問4	先駆種について問う。
	問5	先駆種の具体例について問う。
	問6	光の強さと光合成速度の関係を問う。
	問7	植生の遷移と光合成の関係について問う。
	問8	生態系における生物間の関係を問う。
	問9	生態系における生物の役割について問う。
	問10	一次消費者の具体例について問う。
	問11	分解者の働きについて問う。
III A	問1	行動発現に関する用語の理解を問う。
	問2	学習によってシナプスに生じる変化に対する理解を問う。
	問3	古典的条件付けの理解を問う。
	問4	シナプス伝達を時系列に沿って理解しているのかを問う。
	問5	活動電位とシナプス後電位の特徴に対する理解を問う。
	問6	イオンチャンネルと膜電位の関係についての理解を問う。
	問7	長期間保持される学習を実現するために必要な神経の可塑的变化に関する知識を問う。
III B	問1	DNAおよび遺伝子研究の歴史的背景を問う。
	問2	実験結果を推測することで、グリフィスの実験の意味を読み取れるかを問う。
	問3	実験結果を推測することで、形質転換の基本的理解を問う。
	問4	DNAが遺伝物質であること調べた実験設計の意味を読み取れるかを問う。
	問5	転写に関わる基本的理解を問う。
	問6	翻訳に関わる基礎知識を問う。
	問7	DNAとRNAの化学構造の違いを問う。
	問8	遺伝情報に関する全般的な基礎知識を問う。
	問9	翻訳の終止に関する知識を問う。